

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2024年11月10日発行 第107号 1部100円 <https://chiba.gekijou.org/>



力づくよく・実効ある「千葉県子ども計画」策定に期待！

国の「子ども基本法」「子ども大綱」「子ども計画」が施行され「当事者の声をど真ん中」に、めざす「子どもまんなか社会」のあるべき姿が描かれました。今、県・市町村では、これら国の施策を受けて「子ども計画」等の策定がはじまっています。令和7年度を目指して策定することになっており、県・市町村共に、待ったなしの子ども・子育ての諸課題に向き合い、実効ある施策づくりができるか試されることとなります。

子ども劇場千葉県センターは、これら国の施策内容や方向性に賛同し、大人社会（親・家庭・学校・地域・行政）の意識を変えていく重要な転換期と受け止めています。NPOとしてできることを提案し、行政と一緒に子ども・子育ての課題を解決し、子どもにとっていちばんよいことを進めていきたいと願っています。

■千葉県庁児童家庭課・子育て支援課へ要望と事業企画を提案

子ども劇場千葉県センターは、8月27日（火）「子ども計画」策定の進捗をお聴きし、私たちからの要望と、事業計画に活用して頂きたい、具体的な連携事業の提案を行いました。

■「子ども人権ネットちば」として、

策定を担う県庁3課との意見交換会

「子ども人権ネットちば」は、9月4日（水）、子ども未来室室長をはじめ、「子ども計画」策定の中枢にいる児童家庭課、子育て支援課、児童生徒安全課の3課から進捗を聴き、「子ども人権ネットちば」としての要望と、加盟している3団体（子ども劇場千葉県センター、CAP、千葉市地域で生きる会）からも、施策要望と連携事業提案を行い、意見交換を行いました。

子ども劇場千葉県センターの要望書概要

■要望1 ライフステージ別の重要事項として、○子どもの誕生前から幼児期までが最も重要な時期と明記されています。

特に0歳から2歳児期は愛着形成や基本的信頼感の土台を作り、非認知能力や他者との関わり等、基本的な生きる力を獲得する時期です。この時期への豊かな支援の充実が虐待を起こさない・孤立しない子育てに繋がります。0歳から2歳児とその養育者が笑顔になる、安心と癒しの質の高い支援計画を、しっかり明記いただくことを要望いたします。

■要望2 ライフステージ別重要事項に、○学童期・思春期の重要性が明記されています。

国の子ども大綱でも遊びや体験活動は、子ども・若者の健やかな成長の原点であると明記されています。子どもがどんな状況にあっても遊びや体験活動の機会に格差が生じない、子どもの成長発達に欠かすことができない主体的な自己表現力、コミュニケーション力、自己肯定感の醸成、「生きる力」を育てるのに、芸術の力を活用した体験活動が有効であることを明記してください。

小学校 中学校、特別支援学校等の授業に、芸術的プログラムを活用したワクワクしたカリキュラムを導入し、県内すべての子どもたちに芸術文化体験が届くよう、事業計画に明記してください。

千葉県 HP: [\(仮称\) 千葉県子ども計画 / 千葉県](#)

「子ども人権ネットちば」からの要望と、子どもの諸課題の意見交換

■重要項目の1つ「子ども・若者の権利擁護の推進には、子どもの権利擁護のシステムが欠かせません。「千葉県子ども計画」の中に、オンブズパーソン制度を盛り込んだ「千葉県子ども条例」策定を明記していただくことを、強く要望します。

■ライフステージ別の重要事項 「体罰はいかなる場合も許されるものではなく、学校教育法で禁止されている。教育委員会等に対する上記趣旨の周知と、体罰や不適切な指導の根絶に向けた取り組みを強化することを明記していただきたい。

■先生方が「子どもの権利」について学ぶこと、権利が侵害されていることをキャッチする手立ての1つとして「子どもの話の聴き方」を学ぶことを求めます。

■千葉県子どもの権利ノートを、小学5年生以上の子どもたちに活用し、配布だけでなく、学び合い・話し合う機会を創ってください。

■がんばって勉強しても、障がいを持つ子どもたちの高校進学が認められない事例が起きており、子どもの未来への希望を喪失させない最善の対応を願います。

「千葉県子ども計画」は、9月10日、第2回策定会議に置いて素案が審議され「素案概要」「具体的施策素案」等がHPにアップされています。未だ全容が良く見えず、課題を踏まえた、力強く明解な計画を望みます。

■今後の策定スケジュール

*パブリックコメント：令和6年12月中旬から令和7年1月中旬にかけて実施予定

*計画の最終案について（令和7年2月下旬開催予定）



当事者(子どもや養育者)の声をどう聴く？ その声をどう返す？ 施策への反映は？

市原市

国の「こども大綱」よりもっと踏み込んで策定したい。「子どもの権利を柱」に、こども計画は「子ども・若者」を主語にしている。

●子どもの声、その声をどう返すか？

学生 100 人(20 人×5 箇所)に直接聴いた。現場に出向きながら子どもの意見を集めている。不登校の子どもの支援者を介して話を聴き、不登校の子ども 3 人から直接声を聴くこともできた。施策への反映等で子どもに返す。

●令和 6 年度までの「子ども未来プラン」を基盤に、今年度中に創る。方針を策定し、今骨子を組み立てている。12 月頃パブコメで意見募集、3 月子育ち会議という予定。

鎌ヶ谷市

当事者の声は現場の日常活動でリアルな声も掴む。鎌ヶ谷市のオリジナリティーも大事にした「こども計画」にする。

●子どもの声はアンケート等もとったが、当事者である子ども・養育者の声は日常活動(児童センター等の活動)の中でリアルな声を聴くことが大事と考えている。現場での声をいつも聴き、鎌ヶ谷市のオリジナリティーも大事にしたこども計画にする。

●0 歳～2 歳児期の親子への支援は、子育て支援課内で課題を共有し対応している。この時期への支援と応援をしっかりする必要があると話され、充分理解されている。

佐倉市

大人に付度しない子どもの本音をどう出してもらうか、聴いた子どもの声をどう施策に活かすか、子どもたちに返していくかが重要。

●4 月～5 月にかけて小・中で授業の中で子どもの声をアンケートでとった。このアンケートはこれからのベースになる。8 月 4 日に公募で集まった高校生 20 人の声を聴いた。次は特別支援学校の子どもの声を聴く。11 月 16 日(土) 佐倉ハーモニーホールで、こどもまんなかアクションリレーシンポジウムを開催する。こども家庭庁からも講師を招く。

●令和 2 年度～令和 6 年度までの第 2 期子ども子育て計画を基に、貧困や少子化等課題を盛り込んだ「こども計画」を令和 7 年度に策定する。

木更津市

不登校児の増加、ひとり親家庭、外国籍の家庭、発達障がい児をもつ家庭の増加もある。課題解決する施策を検討

●令和 2 年度～令和 6 年度までの第 2 期子ども・子育て支援計画を執行しつつ、それを基に、子どもの貧困対策、子ども・若者育成支援、少子化対策を重点として令和 7 年度～11 年度のこども計画を創る。子どもの声を聴くことについては、県の小 5 と中 2 の児童生徒のアンケートや近隣市のアンケート内容も参考にしている。

●事業企画提案書は行政にとっては欲しい情報で、具体的な計画づくりに役立つ。市の財源がないという断りの言葉はなく、事業提案書に込められた趣旨に共感を得た。

ぐるっと房総 106 号に引き続き、各市町村を訪問して得た「こども計画」策定の状況をお知らせします。行政訪問の際に、子ども劇場千葉県センターとして、こども計画に盛り込んで頂きたい「要望書(1P 参照)」と、「事業企画提案書」を持参し手渡しました。計画の「胆」になる当事者(子どもや養育者)の声を聴く取り組みは、行政として初めてのことで、どの行政でも様々な工夫や方法等を、模索しながら踏み出しています。

ほぼすべての市町村行政で、令和 2 年度～6 年度までの「第 2 期子ども・子育て支援計画」を基に、少子化対策、貧困対策等の課題を加えた「こども計画」になるようです。令和 7 年度から 9 年度までは「わが市・わが町・わが村」の誇りになる「こども計画」が策定されます。注視しましょう。

(文責：綿貫)



成田市

これまでの「大人目線」に立った取り組みから、「こども目線・こどもまんなか」に立った「こども計画」の素案骨子を HP に公表

●小学校入学前から 30 歳未満の若者、子育て当事者等へのアンケートやワークショップで、様々な方法で意見収集。

●令和 6 年度末で終了する現行計画に、子どもの貧困対策と子ども・若者計画を一本化させた「こども計画」を策定する。成田市総合計画 NARITA みらいプランを上位計画とし、成田市総合保健福祉計画をはじめとする各種関連計画との連携や整合性を図る。11 月骨子取りまとめ、12 月パブリックコメント実施。3 月こども計画決定。

「子どもの権利条約」という言葉が、職員から自然と出てきた。これまでの行政訪問では聞けなかったはじめてのこと。まさに転換期！

君津市

子どもの声を聴く経験は行政としてはじめてで、子どもの声を聴く難しさを実感。この転換期の策定に関わりとてもやりがいがある。

●令和 6 年度中に策定しパブリックコメントを求めていく。令和 2 年度～6 年度までの第 2 期子ども子育てプランを踏襲し、貧困、若者対策等課題を加えて策定する。

●「こども計画」策定で、一番大事にしなければならない、当事者の声を聴くということについて、これまでそうした経験が行政ではなく、初めてのことで試行錯誤の連続だった。子どもに会って直接声を聴くのは大変難しかった。「子どもの権利条約」の視点をしっかり書き込む予定。転換期の策定に関わるのはとてもやりがいがある。

浦安市

学校の先生が子ども基本法や権利等研修

●これまでの市の計画に貧困問題の視点を入れる予定。こども、若者の声を入れることに苦労している。担当職員が子どもの集まる所に出向き、シールに書いて貼ってもらった。「意見を誘導しないようにするのが大変で、意見を聴くファシリテーターは難しい」と話された。子どもの声を吸い上げていくのは始まったばかりで難しいが、現場での子どもの声は、リアルに伝わってきたと嬉しそうだった。

●担当職員は千葉県でこども基本法や権利等学んだ。学校の職員研修の講師として教育委員会から要請があり、夏休み、先生方のZOOM研修を開催。こども基本法のポイントを伝えた。学校も法改正に合わせて対応をしている。

子ども劇場千葉県センターの「事業企画提案書」を提案し、NPOと連携した事業計画への活用を依頼しました。

市町村行政訪問の際、「こども計画」を策定している課・子育て支援課・教育委員会等に、事業主旨、プログラム等の記載内容を説明し、活用のお願いと共に、NPOとの連携強化をお願いしました。今後、市町村の事業計画づくりに活用できると、ページをめくりながらみてくださり、提案書を歓迎し受け止めてもらえました。



①0~2歳児と親の笑顔と癒やしのためのワークショップ



②小学校、中学校、特別支援学校のこどもに届ける「芸術体験活動ワークショップ」



③病院や児童福祉施設で暮らす子どもたちへ笑顔の贈り物ワークショップ



④「子ども遊び出前体験」小学生を中心とした体験型ワークショップ

船橋市

「第3期子ども・子育て支援事業計画」策定中。この計画で貧困対策等の課題を埋め、その後「こども計画」を策定。

●「第2期子ども・子育て支援事業計画」後の、令和7年度から11年度までの「第3期子ども・子育て支援事業計画(仮称)」を策定中。12月にパブコメ予定。この計画で貧困・ひとり親・ヤングケアラー対策等の課題を埋め、令和8年度か9年度に「こども計画」を策定する予定。

●保護者・子ども対象に20,000人に実態調査をし、ヤングケアラーの「LIEN相談」を開設した。小・中・高に直接出向いてリアルな「グループインタビュー」を実施。ファシリテーターは若手の担当職員が務め、言いやすくやわらかな雰囲気や言葉かけなどを心掛けたそう。要望書や事業企画提案書は、国のこども大綱に沿った提案であると評価され、活用すると受けてくれた。

習志野市

ニーズ調査・こどもの声を集めながら策定

- 「令和6年度習志野市子ども・子育て会議」第3回までが終了している。会議委員のメンバーにならしの子ども劇場の事務局長が公募委員として入っている。
- 子ども・若者・子育て支援等に係る実態調査は、小学校中学校は学校で配布、回答はWEB。対象は小1~6年生、中1~中3生、小学5年生、中学2年生の保護者。高校生相当年齢1500人、大学生相当年齢~29歳3700人、子ども・若者の意見聴取についてもWEB調査74人。他、対面による意見交換を実施した。

館山市

館山市第3期子ども子育て支援事業計画を策定中。

●6月、小学生以下のすべての世帯にアンケートを実施。アンケートの視点を入れていきたい。こども子育て会議の第1回を7/29に開催。「第3期子ども子育て支援事業計画(令和7年度から5カ年計画)」を策定中。要望書や事業企画提案書には、理解を示された。市議会はこの計画の内容について議決する機能をもつ。

袖ヶ浦市

子どもまんなか応援サポーター宣言 人口の推移を加味し分析して策定

- 今は、奈良輪地区の人口が爆発的に増えているが、しばらくしたら下降していく予測。毎年子ども議会を開き、そこで出た意見を市政に反映。
- 子育て応援プラン(第2期:R2~6)について、人口推移を加味して分析し第3期を策定中、令和7年にはこども計画を策定する。その委員には子どもも一ふ袖ヶ浦の理事も入っている。

八千代市

子どもの権利についての啓発活動に力を入れる。HPに子どもの権利条約がアップ

- こども計画策定のための基礎資料の作成を、市民参加の機会の1つとしている。こども・若者を取り巻く現状と課題把握のため、15歳~29歳までの意識調査アンケートを実施した。行政へ要望のNOワンは「お金の心配なく学べる支援がほしい」であった。
- 計画の理念「すべてのこどもが健やかに育つまち やちよ」をめざし、基本的視点のトップは「すべてのこどもの最善の利益を図る」となっている。

「こども基本法」「こども大綱」「こども計画」での子どもの声を聴くとは



大人社会は、子どもにボールを投げた。スルーされたり、受け損なう子も、まだ届いていない子もたくさんいるでしょう。でも、ボールが確実に返ってきている自治体もあります。なぜ投げかけているのか、「権利の主体はあなた自身」、「子どもの持つ権利とは」、を繰り返し伝えていく中で、「キャッチしていいんだ、投げ返していいんだ、自分にとって最善な道は自分が決めるんだ」と、子どもの権利を子どもたち自身が知る場となるのが、大きな一歩になります。もはや投げっぱなしにはできません。大人社会が、子どもからの信頼を勝ち取れるかどうか！です。



大人社会 (親・家・学校・地域・行政) の意識を変えること

大人だって最初からうまく聴けない 失敗したっていい 子どもといっしょに考える

★★ 行政は ★★

行政内に子どもの声を恒常的に聴きとり、発信できる「しくみ」が必要です。今後、子ども施策では「子どもの参画や意見反映がないと決定できない」という意識へ変わることが歓迎します。

★★ 子ども系 NPO は ★★

子ども系 NPO は、子ども主役の活動にと願いつつ、大人だけで決めて子どもをお客様にせざるを得ない実状があります。あきらめず、子どものやってみたい！を引き出して、一歩前に。

★★ 家庭・親子の間で ★★

子どもの権利条約が意味することを、大人が学びましょう。家族間や親子の間で、尊重し合う態度へと変化すると、子どもへの指示語が減ります。親にも雑談仲間や息抜き場が必要です。

「どんな人だと自分の気持ちを伝えやすいか」(平野裕さん HP facebook より引用)

スコットランドで、6~17 歳の子ども・若者 27 人の声から、スーパーリスナー「聴きじょうずの人」のイメージが作成されました。

- 1) 親切 (kind)
- 2) 自分がやっていることをわかっている (knows what they are doing)
- 3) プレッシャーがあっても落ち着いている (remains calm under pressure)
- 4) 手ぶりを交えて話をする (uses hands to communicate)
- 5) カジュアルな服装 (casual clothes)
- 6) 子どもを信じる (believes children)
- 7) 優しくフレンドリー (caring and friendly)

Are you a Super Listener?

kind.....eyes to see the problems
knows what they are doing.....mouth to communicate
remains calm under pressure.....knows about children's rights
uses hands to communicate.....non-judgemental
casual clothes.....will talk to grown-ups for you
believes children.....can make you laugh
caring and friendly.....do what they promised

The SUPER LISTENER was designed by children and young people with experience of domestic abuse. Power Up/Power Down was a participatory project exploring how to improve court ordered contact processes for children. The children who took part felt that it was important that all adults working with children know what makes a SUPER LISTENER.

SUPER LISTENER was translated as part of Improving Justice in Child Contact (IJCC), a project seeking to improve children's participation in child contact decisions across five European countries.

To learn more about Power Up/Power Down, visit www.updown.org.uk/why-domestic-abuse/power-up-power-down/index

www.ed.ac.uk/education/ijcc

- 8) 問題を見る目 (eyes to see the problems)
- 9) コミュニケーションするための口 (mouth to communicate)
- 10) 子どもの権利についてわかっている (knows about children's rights)
- 11) 敬意を払ってくれる (respectful)
- 12) 一方的な決めつけをしない (non-judgemental)
- 13) 自分のために大人に話をしてくれる (will talk to grown-ups for you)
- 14) 笑わせてくれる (can make you laugh)
- 15) 約束したことはやる (do what they promised)

こどもにとって あなたはどんなおとな?

- ◇ 大切なのは 子どものことは子どもに聞く
- ◇ 子どもと対話して考える
- ◇ 新しい価値観 (子どもまんなか社会の理念) に大人が出会う

* こども基本法第十一条 及び * 第十五条
この法律及び児童の権利に関する条約の趣旨及び内容についての周知 * 第十六条 子ども施策の充実及び財政上の措置等



今すぐ大人社会が変われないのなら、子ども達にわかるような情報提供と理由の説明が行われなければなりません。子どもの言うことをそのまま全部受け入れることはできない。大人は優先順位をいろんな視点で考えている、そこで**対話**です。対話により“あなたも共に社会を作る一市民”というメッセージが伝わり、一緒に考え発想がわき、もしかしたら優先順位が変わるかもしれません。子どもが参画への意欲(やってみたい!)を持つ市民社会への道筋がみえてくるのではないのでしょうか。

若者 (15~39 才) の死因の 1 位が自死という日本の子どもたちの現状、いじめの増加、不登校が過去最多。子ども達はずっとずっと意思を大人社会に送っているように思えます。

子ども社会のことは子どもが一番よく知っていて、大人が無理だ、当たり前だと思うことも、必要ならズバリと言う力を持っています。なぜ先生はもっと話を聞いてくれないの? もっと親と遊びたい!...

一人にひとつしかない大切な命。一人ひとりの声や、声なき表現、気持ちを大事にする。自分の気持ちに寄り添う人がいれば、安心と元氣、勇気が湧き、エンパワメントされるのです。

子どもの声を聴くとは…?

×大人が聴きたい意見を子どもの言葉を借りて言わせる

○自分の気持ちや意見を言ってもいいんだという感覚を醸成するところから → 自分の意見でまわりを変えることができた! という経験の積み重ね

「今晚何食べたい?」「本当はハンバーグ食べたいけれど、母ちゃんめんどくさいと怒りそう…カレーにしとこう」親や先生の顔色を見て付度して本音ではないことを言わせている場面多くないですか?

自分の気持ちを言っていないんだという経験や感覚を小さい時から積み重ねていく事、日常生活の中で意見や気持ちを聴いて受け止めてもらえる環境が重要です。

(子どもの権利条約第 12 条)

いろいろ工夫して子ども達に直接声を聴いてみた、という行政の方は、「苦勞しました」「難しいですね」と言いながらなぜかみんなにこにこ話されました。子どもらしい本音が返ってくるとちょっと嬉しいですね。

子どもの本当の声を聴くためには・・・評価や否定がなく安心と思えなければ自由に気持ちは表せません。「相手とつながって気楽に話すために、子どもには雑談が必要です。」

(特) 全国不登校開潮社代表理事 石井しこうさん講話より

子どもの声を聴くときのポイント

- 子どもの意見 ≠ 言語化された意見
- 子どもが意見を言えるイベントをつくって声を聴くだけではなく、年齢や発達程度に応じて、遊びや身振り、絵を含む**非言語のコミュニケーション**形態も含まれる
- 意見をすぐに表明できる子どもばかりではない(むしろ少数派)
- 家庭や学校、地域で日常的に意見を言い合える機会や、幼少期から意見を聴いてもらえる環境が重要



子どもアドボカシーの活動

子ども自身が自由に自分の気持ちや考えを表現できるように、サポートしていきます。「まずは子どもとの信頼関係を築くこと。良い悪いの評価をせず、話を聞いていくと、共感できることがきっと見つかるはず。子どもの特性に応じた解決策と一緒に考えるというステップが大事です。」と川瀬信一さん(社団法人「子どもの声からはじめよう」代表理事)。「気持ちを受け止めてもらえたという感覚」が、自分の意見形成、決断、失敗してもまたチャレンジする力につながった、という体験も語られています。子どもの思いを尊重し、対話することが、子どものエンパワメントとなるのです。

子どもにかかわる大人はみんな、それぞれの立場から、子ども一人ひとりの声を聴くことが大切です。

子どもアドボカシーの 6 原則

- ◆ エンパワメント
- ◆ 子ども主義
- ◆ 独立性
- ◆ 秘密を守る
- ◆ 機会の平等
- ◆ 子どもの参加



第 5 回「教育・福祉子育てを学び語り 合う講座 川瀬信一氏講話資料より

「芸術の力を活用した遊びやワークショップを、支援を要する子ども達へ届け、0歳からの笑顔とウェルビーイング向上をはかる事業」

「千葉県内で行う社会福祉に係る事業に対して事業資金を助成し、活力がありあたたかい地域社会を実現する」という趣旨の「ちばぎんハートフル福祉基金助成事業」へ応募し採択されました。これまで広げてきた0歳～2歳児と養育者への笑顔を届ける支援を、地域を支える地銀である「千葉銀行」との新たな連携を構築し、ネットワークをさらに強めていきます。



9月5日 千葉銀行本店にて助成金交付式が行われ、宇野理事長が出席しました。

♥実施内容

県内の8か所の乳児院等に入所している乳幼児、または母子生活支援施設等の親子を対象に、プロの芸術家による、参加型のわらべうた 表現あそび 人形劇 歌や楽器あそび等のワークショップを届ける。

♥目的

- ①0～2歳児が豊かに生きていくための愛着形成、非認知能力の形成を促し、心身の癒しと笑顔を届ける。
- ②施設職員や養育者も一緒に楽しんで笑顔になり、簡単な遊びや芸術的プログラムスキルを身につけ、日常生活の養育の質を豊かにしてウェルビーイングの向上を図る。



やってみたーい！ 跳んでみたーい！ できた！ 笑顔いっぱいの表現あそびとおはなし遊び

実施施設：10/8 乳児院エンジェルホーム 10/28 聖愛乳児園 パフォーマー：大森靖枝さん（おーちゃん）

初めに可愛い楽器の音色。キョロキョロ、キラキラ見つめる全ての瞳はおーちゃんに集中。だっこの子は首をひねって反り返りながら見続けました。おーちゃんを真似してジャンプしているつもりが床からまだ離れない1歳児。手やお尻を突き出してバランスを取る一生懸命の立姿に会場中大歓声。興味津々が止まらず、お話しするおーちゃんについて回る子ども達。思い思いにお芝居に参加し自由に自分を出してニコニコ満足そう。見守る大人もニコニコ、笑い声が絶えません。すごーく安心できて、やってみたーい！が炸裂している空間でした。

施設職員の声「知らない人には緊張してしまう子もびっくりするほど笑っていました。」「毎月来てほしい。」

	実施施設	日時	パフォーマーとプログラム名
1	乳児院エンジェルホーム	10月8日(火) 15:00～15:40	大森靖枝さん 「なんだろな なんだろな？」
2	聖愛乳児園	10月28日(月) 10:20～10:55	大森靖枝さん 「なんだろな なんだろな？」
3	旭ヶ丘母子ホーム	11月24日(日) 10:30～11:10	安西真幸さん 「親子でいっしょにダンスあそび」
4	乳児院コミュニティ長柄	11月27日(水) 10:00～11:00	大沢愛さん 「わらべうたとおはなしのじかん」
5	はぐくみの杜君津赤ちゃんの家	11月28日(木) 10:00～11:00	大沢愛さん 「わらべうたとおはなしのじかん」
6	青い鳥母子ホーム	11月30日(土) 10:30～11:10	安西真幸さん 「親子でいっしょにダンスあそび」
7	乳児院イーハトーブ	12月5日(木) 10:00～10:40	安西真幸さん 「親子でいっしょにダンスあそび」
8	国府台保育園 地域子育て支援センターこあらっこ・こどもセンター	2025年1月18日(土) 10:00～11:00	大森靖枝さん 「なんだろな なんだろな？」



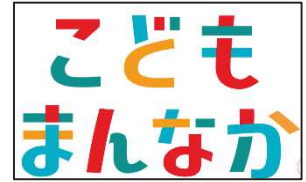
こども家庭庁ホームページをのぞいてみると”こどもまんなか”を周知するためのキーワードを発見！その一部をご紹介します。

★こどもまんなかマーク使用方法

こどもまんなかマークの利用を希望する場合は、使用要領及びこどもまんなかマークデザインマニュアルをご一読いただき、事業者登録を行った上で、使用許諾申請書を下記申請先までご提出ください。

(様式 1) こどもまんなかマーク事業者登録申請書 (Word/29KB)

(様式 2) こどもまんなかマーク使用許諾申請書 (Word/35KB)



★こどもまんなか応援サポーター

「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体・企業、自治体等を、「こどもまんなか応援サポーター」と呼んでいます。こども・若者に意見を聴き尊重したうえでそれぞれにできる、こどもまんなかに向けたアクションをぜひお願いします。参加するために特別な手続きはありません。



★こども家庭庁こども向けホームページがオープンしました！

こども家庭庁（こどもかていちょう）こども向けホームページでは、こどもや若者（わかもの）のみなさんに知ってもらいたい情報（じょうほう）や興味（きょうみ）深いコンテンツがたくさん掲載（けいさい）されています。ぜひ一度、見に来てください。

[こども家庭庁（こどもかていちょう）こども向けホームページ \(cfa.go.jp\)](http://cfa.go.jp)

★『はじめての100か月』は、生涯の幸せを育てる。

幼児期までのこどもの育ちの5つのビジョン

- ・こどもの権利と尊厳を守る ・「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める ・「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- ・保護者、養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- ・こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す



赤い羽根共同募金の寄附金受付が始まっています

2024年10月1日から2025年3月末まで



「傾聴のラインを知らせる広報事業」として、子ども劇場千葉県センターの「チャイルドライン千葉」と「ママパラインちば」の傾聴事業が選ばれています。様々な募金のしくみや方法があり、ご希望に応じて寄付することができます。皆様のあたたかい寄付をどうぞよろしくお願いいたします。

- ◆共同募金の寄附金には税の特典があります。
- ◆寄付をした町の高齢者、障がい者、子どもへの支援等、地域の福祉活動に使われるほか、災害支援にも役立てられます。
- ◆郵便振替
【口座番号】00100-4-22297
【口座名義】社会福祉法人千葉県共同募金会
- ※窓口を設置されているお振込用紙をご利用。振込手数料は通年で無料。振込用紙に「赤い羽根募金」と記入してください。

金融機関名	支店名	口座番号	口座名義
千葉銀行	本店営業部	普通預金 1177889	社会福祉法人 千葉県共同 募金会
京葉銀行	本店営業部	普通預金 3286922	
千葉興業銀行	本店営業部	普通預金 101397	
千葉信用金庫	千葉駅北口支店	普通預金 12498	

※運動期間内に専用の振込用紙を使用した場合のみ振込手数料は無料。

～こども・若者をサポートするネットワークの更なる強化へ～

10月20日(日) 9:30～16:40 (千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス) 参加者 約120名

この会議は、こどもや若者たちが自分の可能性を信じてチャレンジできる社会を目指し、安心して子育てができる環境づくりや、周りの大人がサポートできる体勢づくりをしようという想いで開催され、今年3回目になります。折しも「こども大綱」には、「こどもや若者が社会参画し、安心して意見を述べる場や機会の保障、意見を持つための支援が重要である。」とあり、その実践とも言えるこの会議を紹介します。(文責:大塚)



基調講演

～より多くのこどもに、よりたくさんの居場所を～

テーマ:『子ども食堂と私たちの地域・社会』

講師: 認定NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ 理事長 湯浅誠氏

講演内容: 子ども食堂の目的は、すべての人が交流し、かつ誰一人取り残さない地域社会の実現。より多くのこどもに、よりたくさんの居場所を! 支援系と交流系 その両方が大切だと語られた。 *誰か=特定の人
支援系…誰かをみんなで支える
交流系…みんなの中に誰かを包み込む



パネルディスカッション

～こども計画、こども・若者基本条例をすべての人に届くように～

各分科会代表者からの報告と、市長から特に条例に関して“こども計画だけでなく条例の必要性(全職員が同じ方向を向くため)・多くの市民から意見をもらうこと・プロセスと制定後の周知が大切”という千葉市としての考えが話された。第1分科会から、誰一人取りこぼさない条例だから全ての人へ周知を徹底すべき、権利を現場で生かすこと、支援機関に人と財源を確保するなど提起された。

【第1分科会】 千葉市こども・若者基本条例いよいよ大詰め(登壇者) 条例検討委員会メンバー・多文化フリースクール代表

- ・予定通りに進むと、令和7年4月に施行。
- ・高校生や大学院生が条例の制定に関わって感じたこと“条例ができることについて、大人も子どもも知らない人が多い。とにかく周知と啓発の工夫を! どの世代にも届く方法をみんなで考えよう!”
- ・県立高校「定員内不合格」の実態を知っていますか?
- ・多文化フリースクール設立の背景と現状。家族滞在ビザと定住者ビザとの違い。すべてのこども若者と謳っている千葉市の条例への期待。

【第2分科会】 社会的養護におけるこどもたちの意見表明

(登壇者) 児童養護施設職員・児童相談所所長・こども若者支援団体の管理者

- ・児相や児童養護施設(措置先)でのこどもたちの声を聴くことの難しさ。個別に丁寧に聞き取ること、子どもに「選んでもらう」ことから始めるなどの実情と工夫を知ることができた。
- ・施設を退所した若者は「日々の細やかな“言ってもいいんだ”が本人を後押しし自立を創っていく」「声を聴くことは抑圧された言葉を取り戻し、権利を取り戻すこと」と語った。

【第3分科会】 不登校を考える～支援ネットワークのひろげ方～

(登壇者) 千葉市教育センター副所長・高校生支援団体代表・こども若者支援団体の事業責任者・千葉市スクールソーシャルワーカー

- ・生きづらさを抱える子どもの状況の多様化と年齢によって対応が異なる支援は、学校だけでなく支援機関との連携が求められている。
- ・行政と民間の連携について、また本当に子どもたちの支援に必要なネットワークとは何か、誰とつながれば解決が見えてくるのかを多角的に議論しあうことができた。

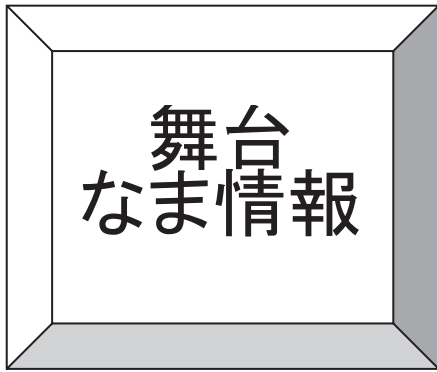
【第4分科会】 児童福祉法の改正と子どもを中心にみたインクルーシブ

(登壇者) 精神保健福祉士・保育園園長・幼稚園園長・千葉市養護教育センター副所長・こども若者支援団体の代表

- ・こども大綱の「インクルーシブ」を確認し、保育現場から感じること、児童発達支援事業を実施している立場からの報告を聞き、療育を受けやすい環境が整ってきたことを実感した。
- ・インクルーシブの観点から地域で共に育ちあうために、施設同士で子どもの状況把握をする必要性とその複雑な実情について意見交換がなされた。

編集後記: 子どもたちが自由に遊べる居場所として開放している近所の体育館で、見守りをしていた時のこと。小4 女兒がやってきて「ねえねえ、人生ってカネがすべてですか?」「えっそんなことナイでしょおお! ?」なんだか焦って答えている私がいた。あれから1ヶ月が経った今『どうしてそう思ったの?』って返せばよかったなあ…。今度また会えたら、この話の続きをしてみたいと思っています。(大塚)





- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・ 役員の下見は5名まで無料
 - ・ その子どもは1人1,000円
 - ・ その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第107号別冊 <2024年12月～'25年3月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ アフタフ・バーバン	忍者修行	2/9	10:30	根形交流センター	袖ヶ浦	幼児～小3
◇ 劇団うりんこ	かえるのそらとぶけんきゅうじょ	2/22	16:30	浦安市民プラザWave101	浦安	4歳～大人
◇ アフタフ・バーバン	チチンパイおおきくな～れ	2/26	10:30	根形交流センター視聴覚室	袖ヶ浦	0～3歳

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ひぼぼたあむ	ハリネズミと雪の花	12/1	14:00	南流山センター	流山	3歳～大人
☆ 人形劇団ひとみ座	ごきげんなすてご	12/15	11:30	新習志野公民館	ならしの	3歳～小3
☆ 望ノ社	宇宙カバ～SpaceHippo	12/22	15:00	千葉市ハーモニープラザ	千葉中央・北	中学生～大人
☆ 船橋おはなしクラブ	ぐりとぐらのおはなし他	3/8	13:00予定	船橋市内公民館	船橋	幼児・小低学年の親子

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ 日本サロンコンサート協会	0歳からの・はじめてのオーケストラ	12/14	11:00/14:00	千葉市ハーモニープラザ	千葉中央	乳幼児と家族
♪ マリンバカンパニー	はねるBabiesマレット	12/15	11:00	勝田台文化センター	八千代	0～3歳児親子
♪ アサンテファミリー	世界とコミュニケーションアフリカンエキスプレス	1/18	14:00	千葉県教育会館ホール	千葉中央・北	小学生～大人
♪ マリンバカンパニー	はねるマレットうたうマリンバ	2/11	15:00	勝田台文化センター	八千代	4歳～大人
♪ サウンドポケット	#TWO INSTANTS	2/16	未定	市川市グリーンスタジオ	市川行徳	幼児～大人
♪ 中島裕康	中島裕康 箏コンサート	2/24	14:00/17:00	勝田台文化センター	八千代	小学生～大人
♪ サウンドポケット	ピアノカの魔術師	3/9	未定	成田市文化芸術センタースカイタウンホール	成田	3歳～大人
♪ チームひまわり	歌とピアノと人形と	3/16	未定	未定	市川北	幼児

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ だるま食堂	だるま食堂のコントのコ	2/14	18:30	美浜文化ホール音楽ホール	みはま	幼児～大人
◎ チィキィ*パークウ	Witty Look of the Life's a CIRCUS!!!!	3/23	14:00	四街道公民館	四街道	幼児～大人
◎ 松元ヒロ	松元ヒロ・ソロライブ	3/28	18:00	船橋市民文化創造館きららホール	船橋	中学生～大人

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ 体験活動	▪ バザーで子ども縁日(文ステ☆バザー@てらす)	12/1	京葉ガスコミュニティテラス・てらす	市川中央
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	12/4.6.11.13.18.20.25	四街道四区集会所	四街道
	▪ ピザがまの森クリスマス	12/7	印西市内ピザがまの森	いんざい
	▪ クリスマス会	12/15	行徳公民館(予定)	市川行徳
	▪ わんぱくスマイルクリスマス会(小学生)	12/21	南流山センター	流山
	▪ クリスマス会	12/22	白井市内公民館	白井
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	1/8.10.15.22.24.29	四街道四区集会所	四街道
	▪ どんど焼き～無病息災を願って～	1/12	船橋市豊富町の畑	船橋
	▪ 親子でチャレンジ!日本の伝承あそび	1/13	勝田台文化センター	八千代
	▪ 成人を祝う会	1/18	印西市内公民館	いんざい
	▪ みんなあつまれ!新年会	1/19	市川少年自然の家	市川行徳
	▪ おもちクッキング	1/19	白井市内公民館	白井
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ 防災食作り	1/19	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
	▪ 子どもの田んぼ もちつき	1/25	印西市内ピザがまの森	いんざい
	▪ みんなで作ろう!大きな段ボール秘密基地	1/26	ニッケコルトンプラザ・コルトンホール	市川中央
	▪ ピザがまの森オープンデー豆まき	2/1	印西市内ピザがまの森	いんざい
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	2/5.7.12.14.19.21	四街道四区集会所	四街道
	▪ わんぱく広場プレーパーク	2/9	行徳駅前公園	市川行徳
	▪ 放課後子ども教室休日企画 革工作	2/15	四街道公民館	四街道
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ ピザ作り	2/16	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	3/5.7.12.14.19	四街道四区集会所	四街道	
▪ ホワイトデークッキング	3/8	印西市内公民館	いんざい	
▪ ちびっこパンや	3/15	JR西千葉駅前ふくろう広場	千葉中央	
▪ 20歳&10歳を祝う会	3/16	船橋市内公民館	船橋	
▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ まきまきパン	3/16	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba	
▪ 焼いも・餅つき	未定	千葉市花見川区NPO法人結遊	千葉北	
高学年の活動	▪ 春の宿泊体験	3/25.26	手賀の丘青少年自然の家	八千代
	▪ 市川浦安青春交流会	3/28.29.30	佐倉草ぶえの丘	市川・浦安
講演会・学習会 ワークショップ	▪ 子どものことばと子育てトークの会 つぶやきりんご	12/5,1/14,2/6,3/6	流山おやこ劇場事務所みんなのおうち	流山
	▪ 忍者修行とあそび表現ワーク	12/14	佐倉草ぶえの丘	佐倉
	▪ マリンパってなあに?観て聴いてやってみよう	12/15	勝田台文化センター	八千代
	▪ 助産師 鶴岡利江子さん講座「いのちの話」	1/25	谷津公民館	ならしの
	▪ 永野むつみさん講演会～「感じる」とは?	1/30	南流山センター	流山
	▪ 挑戦しよう!サーカスワークショップ	2/11(予定)	市川市文化会館大会議室(予定)	市川中央

きらきらわくわく情報

2024年12月～'25年3月

活動	日程	場所	主催団体
絵本とあそびのひろば わくわくキッズ(1歳～)	12/3,1/7,2/4,3/4	市川市勤労福祉センター	市川中央
おやこ文庫わっくぶっく	12/4,13,1/10,22,2/5,21,3/5,21	子ども一ぶ袖ヶ浦事務所	袖ヶ浦
乳幼児おやこサークル ぴよんぴよんキッズ	12/5,19,1/9,16,2/6,20,3/6,27	信篤公民館	市川中央
1～3歳児親子の遊び体験活動	12/5,1/16,30,2/6,13,20,3/6,13	千葉市子ども交流館アリーナ	千葉中央
乳幼児のママたちのヨガサークル ココヨガ	12/6,14,21,1/11,25,2/22,3/22	市川市内	市川北
お母さんのティータイムこーひーかつぶ	12/9,23,1/27,2/10,3/10,24	市川市内	市川北
おやこサークル☆クレヨンクラブ	12/10,1/14,28,2/4,18,3/4	行徳駅前公園研修室	市川行徳
0.1歳児あそびの広場	12/10	緑が丘公民館	八千代
0～3歳児親子の居場所	12/10,24,1/14,28,2/25,3/11,25	千葉中央おやこ劇場事務所	千葉中央
おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば(0歳～)	12/12,1/9,2,13,3/13	鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央
乳幼児とお母さんのための遊びの場ぴっぴ	12/12,1/9,23,2/13,27,3/13,27	神納コミュニティセンター	袖ヶ浦
おしゃべりほっとスペースきらきらひろば(1歳～)	12/13,27,1/10,24,2/14,28,3/14,28	信篤公民館	市川中央
おやこサークル☆ブレンジ	12/13,20,1/10,24,2/14,28,3/7,14	市川市内	市川北
いっぽの会の集い(乳幼児)	12/14	南流山福祉会館	流山
みんなで子育て！ほこぼこカフェ(0歳～)	12/19,1/16,2/20,3/27	市川市南八幡3丁目自治会館	市川中央
2歳～小2くらいの子どもと保護者の活動 どうよびにあそぼう	12/21,1/18,2/15,3/16	市川市内	市川北
ベビーダンスサークル	1/10,2/14,3/7	市川市内	市川北
赤ちゃんコンサート・表現あそび～ゆったりりんりん	1/19,2/26	長浦交流センター、根形交流センター	袖ヶ浦
あらちゃんとあそぼう	2/2	四街道市内	四街道
子育て広場 はっぱのおうちwithおと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba

乳幼児の活動

団体正会員と子ども劇場千葉県センター主催「舞台芸術・芸術体験企画への参加状況」データ

入力フォーム

期間：2024/7月～10月 参加団体：11団体 企画数：46 参加者合計：3,640人

イベントの種類	企画数	子ども参加数	おとな参加数
プロによる舞台鑑賞	15	913人	1,478人
地域連携による舞台鑑賞	2	197人	113人
プロによる体験ワークショップ	25	573人	266人
地域講師による体験ワークショップ	4	42人	58人
合計	46	1,725人	1,915人



<https://goo.gl/nkYxeS>

◆2024年度、選択肢「地域連携による舞台鑑賞」を増やしました。

花咲かせプロジェクトの実施で2件の入力があったので、要約します。

○共同の形で実施。自分たちの弱さや強さを一緒に取り組んだ団体より評価されて再確認できた。強さは当日運営の組織的に行動できること。弱さは広報の部分。実施して良かった。

○まちづくり協議会がコロナでできていなかった地域のお祭りを同日開催する運びとなった。学校体育館の時間割の詰め、創造団体の楽器の管理など、合同開催の難しさも感じた。

◆集計表に書かれた「とりくみ」へのコメントを拾ってみました。

○人形劇を観た後に、バックステージツアーに取り組んだ。先程まで動かしていた人形を動かしたり、小道具を触らせていただいたり、子どもたちの笑顔があふれていた。

○公演当日の午前に、ワークショップを開催した。演奏の技はもちろん、音楽の楽しさを子どもたちは全身で感じる時間だった。夜のコンサートでは舞台上上がり、ピアニカの魔術師たちと共演。みんな堂々と楽しそうだった。

子どもと文化 イベント情報

◆ 人形劇公演

「ハリネズミと雪の花」

心がほっとあたたかくなる小さな奇跡の物語。人形劇団ひぼぼたあむ
12月1日(日)14:00~15:00(開場13:45)
場所：南流山センター
対象：幼児~大人
参加費：3歳から2,000円
主催/(特)流山おやこ劇場
Tel.04-7161-3032

◆ 子どもるーぶまつり

親子で楽しい一日を！京都からのJIJO系操り人形劇「アボカド劇場」公演あり
12月8日(日)9:45~14:30
場所：袖ヶ浦市民会館
対象：乳幼児・小学生とその保護者、子どもに関わる大人 参加費無料
主催/(特)子どもるーぶ袖ヶ浦
Tel.0438-63-2850

◆ 忍者修行とあそび表現ワーク

連続3回の表現あそびワークショップの1回目
12月14日(土)13:30~15:10
場所:草ぶえの丘 対象:4歳~小4
参加費：4,000円(3回通しで)
主催/(特)NPO佐倉こどもステーション
Tel.090-3599-1771(徳永)

◆ 「0歳からの・はじめてのオーケストラ」

~動物大行進~5人編成クラシックコンサート
12月14日(土)①11:00 ②14:00
場所：千葉市ハーモニープラザ3階ハーモニーホール
対象：乳幼児とその家族
参加費：0歳~未就学児1,000円、小学生以上2,000円
主催/(特)千葉中央おやこ劇場
Tel.043-251-0142

◆ 講座「いのちの話」

講師/鶴岡利江子さん(助産師)
小学低学年親子向け。命の大切さを感じ、自分自身も大切にすることを学びます。
1月25日(土)10:00~11:30谷津公民館
対象:小1~3親子 参加費未定
主催/(特)ならしの子ども劇場
Tel.070-6556-8762

◆ みんなで作ろう！

大きな段ボール秘密基地2024

1月26日(日)10:30~14:30
場所：ニッケコルトンプラザ コルトンホール
対象：4歳~小学生とその保護者
参加費：幼児親子500円/1組
小学生以上500円/1人(予定)
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024

◆ 挑戦しよう！

サーカスワークショップ

講師：チーキー*パークウ
2月11日(火祝)(予定)
場所：市川市文化会館大会議室(予定)
対象：幼児~大人
参加費：幼児親子1,000円/1組
小学生~大人1,000円/1人(予定)
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024

◆ 放課後子ども教室休日企画

「革で作ってみましょう」(仮称)

2月15日(土)10:00~12:00
場所：四街道公民館
対象：小学生・中学生
参加費：500円
主催/(特)四街道こどもネットワーク
Tel.043-423-5381

◆ ママパパラインちば

☎043-204-9390

○毎週金曜日10:00~16:00

○全国キャンペーン2月3日~8日

(月曜から土曜まで)10:00~16:00

子どもをもつママ・パパ・家庭の

子育ての悩みや不安な気持ちを

電話でお聴きします。安心して

ゆっくりおはなしてください。

電話だからこそ何でも言える。

気軽にダイヤルを！

主催/(特)子ども劇場千葉県センター

Tel.043-301-7262

※(特)は特定非営利活動法人を略しています。
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。

◆ 「だるま食堂のコントのコ」

歌い！踊る！女性三人の爆笑コント

2月14日(金)18:30開演
千葉市美浜文化ホール音楽ホール
対象：幼児~大人
参加費:子ども(高校生まで)1,500円
(保護者のお膝の上なら無料)。大人2,700円
主催/みはま舞台芸術を楽しむ会
Tel.080-1138-1635

◆ ライブ！ サウンドポケット

「#TWO INSTANTS」

ミッチュリー&ギタリスト高田亮介のコラボ！どんな年代も楽しめる！
2月16日(日)時間未定
グリーンスタジオ(市川市メディアパーク)
対象:幼児~大人 参加費:4歳~1,500円
主催/(特)市川子ども文化ステーション
Tel.047-395-7670

◆ 舞台劇「かえるのそらとぶ

けんきゅうじょ」劇団うりんこ

カエルたちの奮闘を通して、夢に向かって

創意工夫を重ねることの大切さを描きます

2月22日(土)16:30開演

場所:浦安市民プラザWave101多目的大ホール

対象:4歳~大人 参加費:子ども2,000円、

大人2,500円(当日300円増し)

主催/浦安子ども劇場

連絡先 urayasu.kodomo.g215@gmail.com

◆ 次世代に伝えたい和の音色

中島裕康 箏コンサート

2月24日(月祝)①14:00②17:00

場所:勝田台文化センター 対象:小学生以上

参加費：子ども2,500円、大人3,500円

主催/(特)子どもネット八千代

Tel.047-486-4699

◆ 松元ヒロ・ソロライブ

3月28日(金)18:00~19:40

船橋市民文化創造館きららホール

対象：中学生~大人

参加費：2,800円(当日200円増し)

主催/(特)船橋子ども劇場

Tel.047-424-0851

	団体名	Tel.	団体名	Tel.
千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧	● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● みはま舞台芸術を楽しむ会~子どもから大人まで~	080-1138-1635
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-250-4120
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-377-8490
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
	● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
	● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● やちまたおやこ劇場	043-442-0084
	● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
	● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
	● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
	● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
	● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387		